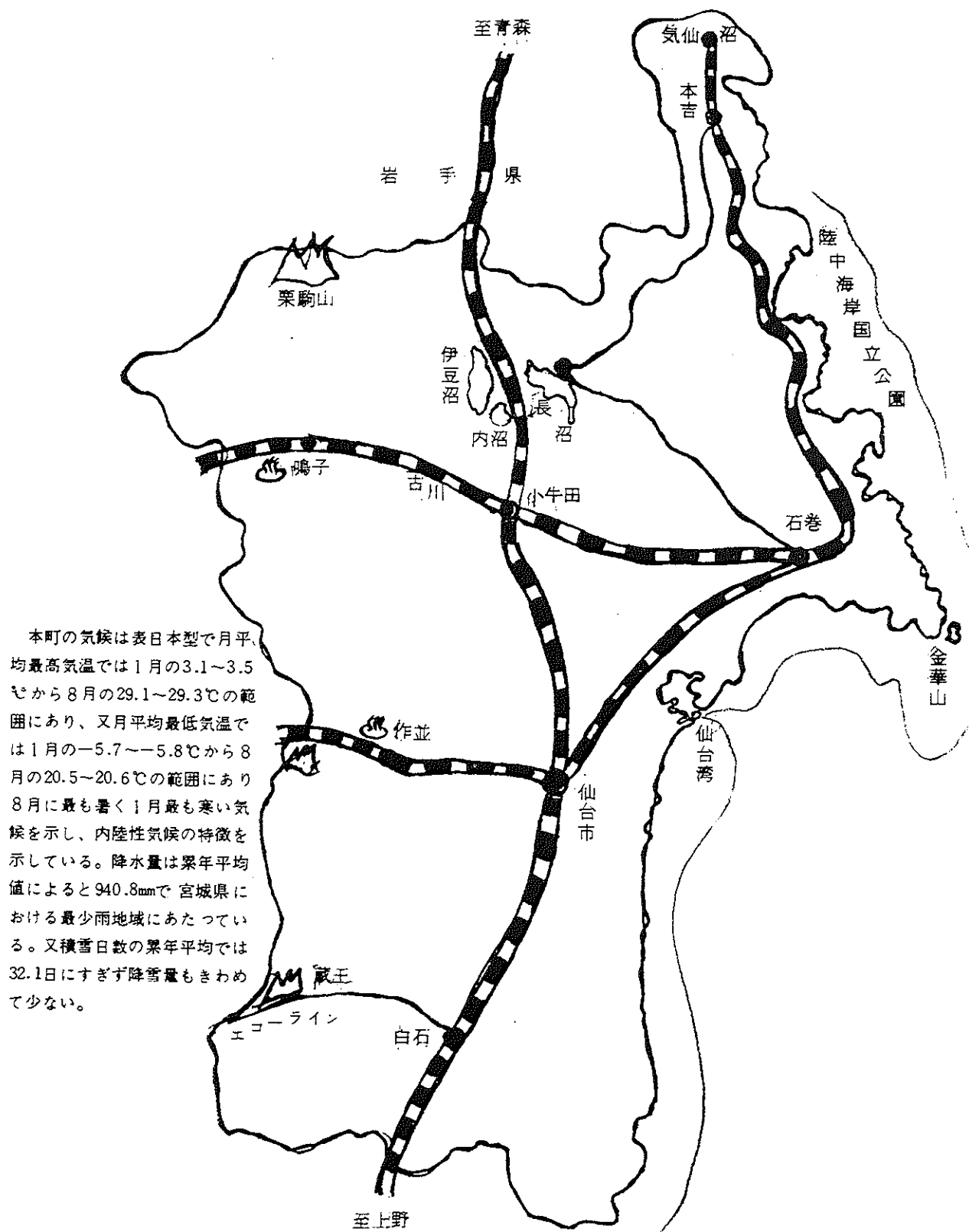


# 伊豆沼・内沼のハクチョウ・ガン類

迫町白鳥愛護会



本町の気候は表日本型で月平均最高気温では1月の3.1~3.5℃から8月の29.1~29.3℃の範囲にあり、又月平均最低気温では1月の-5.7~-5.8℃から8月の20.5~20.6℃の範囲にあり8月に最も暑く1月最も寒い気候を示し、内陸性気候の特徴を示している。降水量は累年平均値によると940.8mmで宮城県における最少雨地域にあたっている。又積雪日数の累年平均では32.1日にすぎず降雪量もきわめて少ない。

年 月 日	記 事
24. 11.	白鳥 17羽飛来す
38. 10.	新田中、愛鳥クラブ結成 クラブ生徒数 26名 白鳥日誌の記帳、観察を始める
39. 11.	迫町公民館、教育委員会協議し伊豆沼白鳥保護協議会結成する 会長に迫町長選任
39. 12. 1	迫町白鳥愛護会結成 会長相沢幸四郎就任
40. 12. 1	冬鳥の渡来地として伊豆沼、内沼の白鳥などを国の天然記念物として 仮指定する
40. 9.	ハクチョウ休憩場に立て看板を立てる 給餌棧橋の設置
41. 1.	結氷のため愛護会会員、新田中愛鳥クラブ会員で氷割作業とエサ付を 毎日の日課となる
41. 10.	伊豆沼、内沼鳥獣保護区設定
42. 2.	エサ付け成功する
9. 7	伊豆沼、内沼の鳥獣およびその生息地を国の天然記念物に指定
45. 10. 31	文化財保存事業による天然記念物伊豆沼、内沼鳥類および生息地保存 施設餌倉庫 19,874㎡を410,000円 で建設する
46. 11.	白鳥は百余年前から禁猟とされている古文書発見 (嘉永7年3月狩猟の許可証の文章から)
12.	エサ付棧橋県において設置
46. 3.	若柳、築館、迫町三町白鳥連絡協議会結成 (築館町 伊藤つる子宅、 会長 相沢幸四郎就任)
47. 1. 24	はくちょう号運行受入態勢について打合会を催す
3.	新田駅前昭和会伊豆沼駐車場に公衆便所設置
3.	三町白鳥愛護会協議会総会開催 迫町本吉屋に於て 白鳥監視道 (農道、観光道) 一部を町において改良する NHK、仙台放送、東北放送、各新聞に白鳥、ガン、カモ等について 放送掲載さる 白鳥号列車、白鳥号バス運行 (2/26 ~ 3/5 8日間)

年 月 日	記 事
47. 3.	白鳥飛来数 (1,300 ~ 1,500) ガン類 (2,500 ~ 3,000) 観賞者1万数千人に達す (東京、関東、関西(大阪、京都、神戸)名古屋、福島、岩手、青森等)
3. 12	はくちょう号運行反省会を開催す 映画会
10. 28	迫町白鳥愛護会総会を開催す
11. 11	白鳥号運行打合会 (於本吉屋) 仙鉄局旅客課長以下旅行センター国鉄関係愛護会 役場代表、昭和会、婦人会代表 19名
8. 15	伊豆沼、内沼地区 550ヘクタールを特別保護区に指定のため公聴会を開催 (於若柳町公民館)
48. 1. 20	志津川愛鳥会、田中完一会長以下50名 公開採鳥会のため伊豆沼にて開かれる
1.	1/21 ~ 3/11 はくちょう号運行
1. 11	伊豆沼周辺の野鳥一斉調査 計21,657羽を数える
1. 16	白鳥、ガンの愛護と白鳥号受入の準備の全体会議
2. 5	白鳥観光絵ハガキ10,000部作成、全国主要機関、観光客に配布
2. 23	白鳥愛護会役員世話人合同会議 (於新田駅前公民館)
3. 10	盛岡鉄道管理局長以下、白鳥愛護会会員どの白鳥、ガンについての懇談会の開催
3. 16	若柳、築館、迫三町白鳥ガンの愛護会連絡協議会総会を若柳町小山会長宅にて開催す
48.	伊豆沼、内沼の環境保全地域指定
48. 4.	日米、日豪など国際間で渡り鳥保護条約締結
4. 13	白鳥観察 (越冬した白鳥は全部北方に帰る)
4. 27	若柳、築館、迫三町白鳥、ガンの愛護会連絡協議会役員会議開く
5. 10	迫町白鳥愛護会会長 相沢幸四郎会長愛鳥功勞に依り県知事より表彰さる
6. 8	若柳町白鳥愛護会会長 小山喜逸氏白鳥愛護功勞に依り県観光連盟より表彰を受ける
6. 20	日本野鳥の会結成総会に相沢会長出席す (東京都千代田区)

年 月 日	記 事
48. 9. 10	伊豆沼の環境調査を実施（県公害対策局）
10. 16	若柳、築館、迫三町白鳥ガン愛護会連絡協議会第4回役員会議を小山会長宅で開く
11. 7	白鳥号運行打合せ会（於本吉屋）
12. 15	白鳥、ガン類の餌の集しゆう運動はじまる（町内、郡内）
12. 20	「伊豆沼、内沼、長沼の野鳥」のパンフレット作成発行10,000枚
12. 29	仙台駅前旅行センターにて「伊豆沼のハクチョウ、自然と親しみ自然と語ろう」のニュース新聞を発行する
49. 12. 4	伊豆沼の水質を再度調査（県公害対策局汚染源探る）
1. 10	はくちょう号運転打合せ会（於本吉屋）
1. 20	20日～3月10日まで白鳥号運行する
2. 11	サンケイ新聞「腹ペコ白鳥に救いの手」全国版に掲載全国各地からぞくぞく愛の手が差しのべられた
2. 13	第2回目餌集しゆう運動はじまる
2. 23	白鳥愛護会役員世話人会議（於新田駅前公民館）
2. 26	登米みなわ会より餌代として35,651円寄贈された
5.	傷ついたハクチョウ家族ぐるみ看護 北方字相ヶ沢 太田与市さん宅で4月10日～5月20日まで傷ついたハクチョウを看護 5/20迫農林事務所に引渡す
9.	餌倉庫四棟建設 エサ付棧橋4ヶ所設置
10. 19	今年も又シベリアよりやさしいお客ハクチョウ一家4羽飛来してきた 10/22日現在で11羽飛来
11. 15	迫町白鳥愛護会総会（於新田駅前公民館）
11. 20	はくちょう号運行打合せ会（於本吉屋）
12. 4	はくちょう号運行関係者全体会議
11. 14	はくちょう号運行打合せ会（於新田駅前本吉屋）
11. 20	はくちょう号打合せ会（ ” ）
11. 26	読売新聞「伊豆沼に舞う白鳥の群れ」として掲載

年 月 日	記 事
49. 12. 4	はくちょう号運行打合せ会
12. 9	9月NHK制作部来沼 白鳥愛護についての模様を撮影 白鳥愛護会世話人会議（於白鳥愛護会詰所）
50. 1. 1	河北新報全国版に「見守り続けた白鳥の楽園」と題して新田中愛鳥クラブの活動記録が掲載さる
1. 14	「ガンを守る会」会長横田義雄先生を招いて野鳥、ガン類についての講演会を開催する
1. 8	白鳥、ガンの餌集しゆう運動を展開 新田地区を対象に回覧板を配布する
1.	白鳥号運行 1/19 ~ 2/23 宮城バス観光バス運行
1. 10	「ふるさとに生きる」ハクチョウじいさんとして相沢幸四郎会長 河北新報全国版に掲載
1. 10	「湖面凍り餓死寸前ストックのエサも底つく」 伊豆沼にはエサ付場5ヶ所あり結氷の場合は氷を割りエサを与えなければならぬ 1日500kgを必要とする会員の顔は真剣そのものだ
1. 10	明るい農村白鳥のくる里伊豆沼放映さる（6:30から6分間）
1. 11	伊豆沼にタンチョウヅルすみついた 昨年5月より住みついて居る翼長約60cm 尾長25cm頭の上が赤く、首・足などは黒、からだは真白
1. 11	1/8堺博君、首と足に赤いバンドのついたハクチョウを発見する 若柳町上畑岡獅子鼻地内で発見する 「00IC」シベリアで放したものと確認さる
1. 11	負傷のマガンを治療、伊豆沼に放す 築館農林事務所扱い若柳大林地区で負傷したマガン発見横山四男獣医の手当により完治し1/7獅子鼻地内に放鳥、仲間と一緒に遊んでいる
1. 19	胆江歌人クラブ主催の白鳥を見る吟行歌会を伊豆沼で開催 菊池知州先生外会員20名来沼「白鳥はかなしからずや空の青 海の青にも染まらずただよう」 若山牧水の心を思いながら
50. 5	堺博君 野鳥の保護観察の功勞により県知事より表彰さる

年 月 日	記 事
51. 1. 23	野鳥の天国としての伊豆沼国際空港とともに相沢会長読売新聞にて全国に紹介さる
2. 16	鳥獣保護区更新の期にハクチョウの楽園、生活論争に波立つ 愛鳥家たちは保護区の拡大を支持し河北新聞にて訴え
4. 14	異常気象で勘狂う ハクチョウさん、まだ 300羽居残る
4. 15	病気のハクチョウ手厚い看護で元気回復 愛護会員の高橋庄吾さんの看護で「ふるさと」シベリアに帰る
5. 13	財団法人日本鳥類保護連盟より野生鳥獣の保護に尽力した功績により相沢幸四郎表彰さる
5. 13	鳥獣愛護の功績により笠原啓一 宮城県知事より表彰
5. 21	宮城県議会警察常任委員伊豆沼、内沼の環境調査のため来町 上野町長実情を報告
5. 26	行政監察署より伊豆沼、内沼周辺の現地調査のため来町